



せいひ会だより

2011年(平成23年)

5月1日発行

<第133号>

社会福祉法人せいひ会

http://www.seihikai.jp/



春の風物詩 中山公園のつつじ

日本において最も馴染みの深い花といえば、百円硬貨の表にデザインされていることでもわかりますが、やっぱり桜ですね。「ひさかたの光のどけき春の日にしづ心なく花の散るらむ(こんなに日の光がのどかに射している春の日に、なぜ桜の花は落ち着かなげに散っているのだろうか)」という句が思い浮かんできましたが…。今、東北地方も桜が満開と聞きました。こちらでは桜からつつじの季節へと移ってきました。元亀の里の正面に位置する中山公園のつつじが今年も色鮮やかに咲き始めました。桜、つつじ、花しょうぶ、あじさいへと移りゆくこの季節。今まさに百花繚乱。素敵な季節になりました。

4月の行事

- 1日 年初式
- 1日 小規模多機能「じゅげむ」オープン
- 4日～6日 お花見バスハイク(元亀・通所・丘の家・風和)
- 6日・20日 書道教室(元亀・通所・丘の家・GH)
- 8日 花まつり(通所)
- 18日 誕生会(元亀・通所)



5月の行事予定

- 4日・18日 書道教室(元亀・通所・丘の家・GH)
- 5日 しょうぶ湯(通所)
- 5日 端午の節句(風和)
- 7日 母の日ピクニック(元亀)
- 8日 母の日会(GH)
- 8日 母の日(風和)
- 16日 誕生会(元亀・通所)



☆4月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



楠本徳見様



壇浦リエ様



石濱久吉様



前田澄子様



古賀勝美様



志水忠一様



原口和代様



田崎トメ様



石本シズエ様



柿本ナヲ様



山添フミエ様

今回は通所リハビリ・山添 フミエ様にお話を伺いました。

昭和3年、西彼町の亀浦に4人兄弟の長女として生まれる。両親は農業を営んでおり、芋や麦・米やいろいろな野菜を栽培していた。「あん頃は麦ご飯ばかり食べよった」と子供の頃を思い出されていた。小学2年生の頃早くして母が亡くなり、炊事や畑仕事などを手伝っていた。

中学校を出ると家業の畑仕事を手伝った。「昔は貧乏で苦勞ばかりしてきた」「体も貧弱やったけん、畑仕事のしんどかった」そう。また、「戦時中やったけん、食べ物ば作らんばで必死やった」と当時の大変さを話されていた。

20歳で婿養子を取り、一緒に農業を営んだ。「ごうぎ働きの旦那やった」ようで、スイカや大豆・ミカンと畑を広げ、牛も20～30頭飼っていたそう。

40歳過ぎて時津の魚の加工場で働いた。「畑仕事は体のもたんごたったけん、加工場での仕事が自分には向いとったごたる」とのこと。

現在、通所リハビリテーションを利用されている。「ここに来るとが楽しみ」「色々を作りたい、歌りたいと楽しかよ」と話される。「昔から体に無理させてきたけん、あちこち体の痛うして言うことかかんごとなった」そうだが、家では野菜を栽培したりと忙しそう。またテレビ鑑賞も好きなようで、健康・病気の番組や歴史の番組を観ているそう。

「苦勞ばかりしてきたばってん、子供達も良う育ってくれたし満足してます」と振り返られていた。また「今の若っか人達はもっと苦勞した方が将来のためになるよ」と付け加えられた。

これからも、体に無理しない程度で野菜作りに励んでください。誕生日おめでとうございます。

「Vitality Space」は、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。その活動を紹介するコーナーです。

Vitality Space バイタリティ・スペース

老梅の香りの庭つばみつきおり
橋口初代

泉月晴れる橋香る風にゆだねる
竹下晶子

うたの時間

夫子
藤本タキ

元亀 藤本タキ

文芸
松尾タツ子

元亀 松尾タツ子

笑声
辻せい

元亀 辻せい

明星
楠本ノエ子

GH 楠本ノエ子

瑞気
濱保

通所 濱保

夫子
前川勉

丘の家 前川勉

グループホーム



夜間想定消防訓練

4/26、グループホーム翠風で夜間を想定した消防総合訓練がありました。同じ敷地内の元亀の里や丘の家の職員が応援に駆け付け、協力して避難する訓練を行いました。

通所

花まつり



4/8白崎の妙経寺にて行われた花まつり。あいにくの雨ではありましたがお釈迦様の誕生を祝いつつ、持参した入れ物に甘茶をしっかりと酌みました。

小規模多機能じゅげむ



つわむき

みんなで「つわ」の皮をむいている様子です。皆さん本当に手際よく皮をむいていました。私たちではぜんぜん、かないませんでした。



元亀の里



元亀の里では、「生長の家」にお花見に行ってきました。真っ青な空に「ソメイヨシノ」の桜がくっきりと映え、更に急な突風でこれまで見たこともないくらいの「桜吹雪」が舞い、一瞬でしたが幻想的な景色を楽しむことができました。

通所



通所では、お花見の代名詞ともなっている西海橋まで足を運んできました。桜の花はもちろんですが、近くの市場で買い物（お土産）も楽しみました。



お花見特集

風和の里



満開の桜に皆さんご覧のように満面の笑顔です。この日は、元亀の里のお花見と時間が重なり、笑顔であいさつを交わしました。

小規模多機能じゅげむ



「寿限無」近くの公園の桜も見ごろでしたので、お散歩を兼ねて「お花見」してきました。

年初式



私たち「せいひ会」も160人を超える職員数となり、一同に集まる機会がほとんどありませんが、この日は可能な限りの職員が、風和の里のふくろうホールに集まり「年初式」が行われました。最初に東日本大震災で亡くなられた方に「黙とう」し、そして理事長のあいさつ、役員の話など改めて気持ちも引き締め、新たな年度がスタートしました。

ケアマネ 歌美の独り言

〈普通の大切さ〉

以前にも書いたことがあります「普通」でいることの難しさを痛感しています。特にここ1ヶ月は、大震災があり「自分にも何かできることがないか」と考えたり「自分には何もできない」と落ち込んだりと・・・その時にラジオから流れてきた言葉「こんな時こそ、普段通りの生活を送ろう。普段の生活の中で出来ることをやればいい。無理しないことが大切だ」と。その言葉になんか救われたような気持ちになりました。同時に「普通でいることの難しさ」を改めて実感しました。人は心の持ちようで行動が変化します。いかに自分の心を「普通」の状態に留めておけるか。「まだまだ日々勉強だな」と感じた今月でした。・・・晩酌の時は心穏やかなのになあ(笑)